

2015年9月30日

「地域中核企業活性化ファンド」組合出資の二次募集完了について

株式会社地域経済活性化支援機構(以下「機構」という。)は、本日、機構のファンド運営子会社である REVIC パートナーズ株式会社を通じ、株式会社エスネットワークス(以下「エスネット」という。)と共同で運営している、「地域中核企業活性化ファンド」(地域中核企業活性化投資事業有限責任組合、以下「本ファンド」という。)について、組合出資の二次募集を完了しましたので、お知らせいたします。

本ファンドは、2015年4月10日に、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成のために、地域の核となる企業の早期経営改善等を資金及び人材の両面から支援することを目的とし、機構を含む計21社(本ファンドの概要参照)を有限責任組合員として設立されました。

今般、株式会社三井住友銀行、株式会社東邦銀行、株式会社十六銀行、第一生命保険株式会社及び日本生命保険相互会社の計5社から新たな出資並びに機構の追加出資を受け、本ファンド総額は、290.5億円に達しました。

本ファンドは、潜在的競争力(有用な経営資源)がある一方、業績改善若しくは新事業進出・事業転換・新工場建設・M&A等による事業構造改革を行う意欲又は成長意欲を有する国内中堅企業を主たる対象事業者とし、投融資形態は、主に優先株等を想定しています。

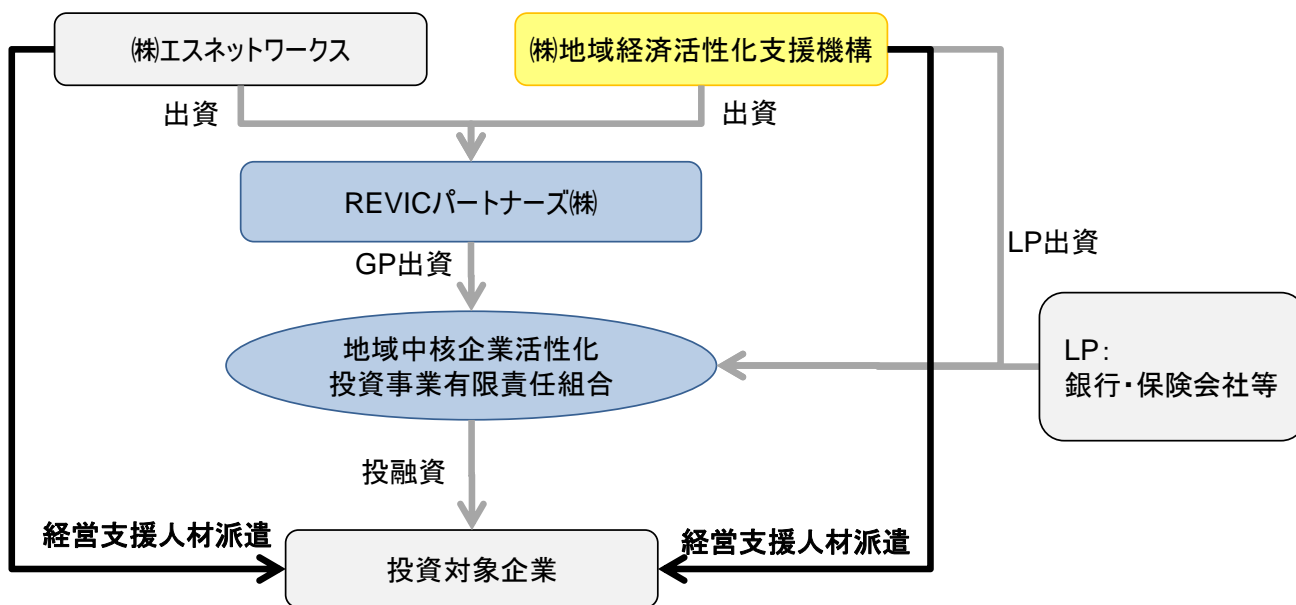
本ファンドについては、政府の成長戦略である「『日本再興戦略』改訂2014—未来への挑戦—」(2014年6月24日付)で言及されており、リスクマネーの提供のみならず、機構及びエスネットが有する豊富な経営支援人材を投入し、さらに、機構が事業再生支援業務を通じて蓄積してきた知見を最大限活用することで、国内中核企業の経営改善や成長を支援し、地域経済の活性化に資する新たなモデルケースを構築したいと考えております。

本ファンドの概要は以下の通りです。

名称	地域中核企業活性化投資事業有限責任組合
ファンド総額	290.5 億円
組合員構成 (<u>下線は新規組合員</u>)	株式会社みずほ銀行 株式会社三菱東京 UFJ 銀行 株式会社福岡銀行 りそなグループ(株式会社りそな銀行)* <u>株式会社三井住友銀行</u> <u>株式会社東邦銀行</u> 株式会社足利銀行 株式会社常陽銀行 株式会社千葉銀行 株式会社横浜銀行 株式会社第四銀行 株式会社静岡銀行 <u>株式会社十六銀行</u> 株式会社紀陽銀行 株式会社中国銀行 株式会社北洋銀行 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 東京海上日動火災保険株式会社 三井住友海上火災保険株式会社 住友生命保険相互会社 <u>第一生命保険株式会社</u> <u>日本生命保険相互会社</u> 明治安田生命保険相互会社 株式会社地域経済活性化支援機構 REVIC パートナーズ株式会社
設立日	平成 27 年 4 月 10 日
存続期間	約 7 年間
業務運営者	REVIC パートナーズ株式会社

* りそなグループ(株式会社りそな銀行、株式会社埼玉りそな銀行、株式会社近畿大阪銀行)を代表して、株式会社りそな銀行が出資

【本件スキーム図】



以上

＜お問い合わせ先・ご相談の連絡先＞
株式会社地域経済活性化支援機構
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階
代表: TEL 03-6266-0310